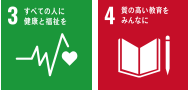


要請番号 (JL31822B08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エクアドル	G113 体操競技		個別	新規	2年	・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

マナビ県スポーツ連盟

3) 任地 (マナビ県ポルトビエホ市) JICA事務所の所在地 (キト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで 約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

マナビ県スポーツ連盟は、マナビ県のスポーツの普及・発展を目的として、1928年に設立されたスポーツ省管轄下の非営利団体である。現在は、21種のスポーツ競技を統括している。県民は誰でも希望すれば連盟に所属することが可能であり、競技スポーツ希望者は無料で同連盟の施設を使用し、指導を受けることができる。また、県民の健康促進やスポーツを通じた児童・青年層の人間性および社会性の育成支援にかかる各サービスを提供している。年間予算約202万米ドル(2022年)、指導者を含む連盟スタッフ数約134名。同連盟には過去、体操競技、野球、水泳等のJICA海外協力隊が派遣されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先へは、1993年から2005年まで5名の体操競技のJICA海外協力隊が活動していた。その成果もあり、現在では隊員の教え子が指導者となり、体操競技の普及や選手育成に従事し活躍している。しかしながら、コロナ禍の影響により、競技人口が激減した他、体操競技の練習が行われている体育館(2005年設立)も、2016年のマンタ沖地震やそれに伴う火災により被害を受ける等、設備面でも制限のある中で練習を継続している。配属先は、再度競技人口を増やし、選抜強化選手への指導法について知見を得たいと、隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚とともに以下の活動を実施する。

- 指導者である同僚と一緒に、各種目の新たな指導法を考案する。
- 選手のカテゴリー・発達段階・競技力に応じた練習計画を同僚と作成・実践する。
- 強化選手の技術レベル向上のために直接指導を行う。
- 教育機関等を訪問し、競技人口を増やすためのプロモーション活動に貢献する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

体育館・床・あん馬・吊り輪・平行棒・鉄棒・平均台・段違い平行棒

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

強化選手指導者1名(60代男性、指導経験年35年)

指導者(30代女性、指導経験10年)、指導者(30代男性、指導経験15年)

活動対象者:
競技者の年齢 5歳から16歳まで(男女)約35名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スペイン語	スペイン語	言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（ ） 備考：

[経験]：（指導経験）5年以上 備考：同僚コーチへの指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（21～31℃位）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】